

芦北町の教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価結果報告書
(令和5年度実績)

芦北町教育委員会

目 次

○芦北町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価取りまとめ表	1
------------------------------------	---

○点検及び評価結果報告書

【教育課】

1 教育委員会運営事業	3
2 教育研究指定校等支援事業	4
3 学力等検査事業	5
4 英語検定受検支援事業	6
5 小中学校情報通信教育推進事業	7
6 漢字検定受検支援事業	8
7 指導主事配置事業	9
8 語学指導事業	10
9 論語教育推進事業	11
10 教職員等健康診断事業	12
11 各種大会等参加費助成事業	13
12 学校給食センター管理運営事業	14
13 給食費無償化及び給付金交付事業	15
14 子ども自立支援室及び特別支援教育事業	16
15 準要保護児童生徒就学援助事業	17
16 スクールバス運行事業	18
17 通学費補助事業	19
18 小中学校維持管理事業	20
19 奨学資金貸付事業	21
20 教育連携連絡協議会事業	22
21 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）事業	23

【コミュニティセンター課】

22 社会教育委員運営事業	24
23 生き生き大学運営事業	25
24 青少年育成町民会議支援事業	26
25 演奏家派遣事業	27
26 町民講座運営事業	28
27 成人式開催事業	29
28 家庭教育支援事業	30

29	コミュニティセンター管理運営事業	31
30	子どもの広場管理運営事業	32
31	図書館管理運営事業	33
32	放課後子ども教室推進事業	34
33	地域学校協働本部事業	35
34	人権教育推進事業	36
35	中央公民館運営事業	37
36	地区公民館施設整備支援事業	38

【スポーツ・文化振興課】

37	演能会開催事業	39
38	佐敷城跡調査事業	40
39	文化財保護審議会運営事業	41
40	文化財調査事業	42
41	文化財維持管理事業	43
42	佐敷東の城跡調査事業	44
43	文化財災害対策維持管理事業	45
44	文化振興事業	46
45	文化祭開催事業	47
46	星野富弘美術館運営事業	48
47	スポーツ振興支援事業	49
48	温泉プール管理運営事業	50
49	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業	51
50	体育イベント開催事業	52
51	芦北町スポーツ協会支援事業	53
52	スポーツ推進委員協議会運営事業	54
53	体育施設管理運営事業	55
54	地域資源活用総合交流促進施設管理運営事業	56

芦北町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価取りまとめ表

【教育課】

【（ ）内は前年の評価】

理念： 「温故創新」古きを学び知り、生きる力を培い、新しさを創る

学校教育目標： 徳育を根底に知育・体育を総和した基礎・基本の修得による学力の向上に努め、我が国と郷土及び国際社会に貢献できる人間の育成を図る。

具現化方針	評価	教育委員会事務局評価					教育委員会評価	
		事業のニーズ	町関与の範囲	達成度	効率性	公平性		総合評価
教育委員会運営事業		A	A	B	A	A	A	A
1 「知」・・・学力の充実と向上								
教育研究指定校等支援事業		A	A	B	B	A	A	A
学力等検査事業		A	A	B	A	A	A	A
英語検定受検支援事業		A	B	A(B)	B	A	A(B)	A(B)
小中学校情報通信教育推進事業		A	A	B	B	A	A	A
漢字検定受検支援事業		A	B	B	B	A	B	B
指導主事配置事業		A	A	A	B	A	A	A
2 「徳」・・・豊かな心を育む教育の推進								
語学指導事業		A	A	B	B	A	A	A
論語教育推進事業		B	A	B	B	A	B	B
3 「体」・・・健康・体力づくりの推進								
教職員等健康診断事業		A	A	B	B	A	A	A
各種大会等参加費助成事業		A	A	B	B	A	A	A
学校給食センター管理運営事業		A	A	B	A	A	A	A
給食費無償化及び給付金交付事業		A	A	B	A	A	A	A
4 不登校対策及び特別支援教育の推進								
子ども自立支援室及び特別支援教育事業		A	A	B	B	A	A	A
5 安全・安心な教育環境の整備推進								
障害児児童生徒就学援助事業		A	A	B	A	B	A	A
スクールバス運行事業		A	A	A	B	B	A	A
通学費補助事業		A	A	A	B	B	A	A
小中学校維持管理事業		B	A	B	A	A	A	A
奨学資金貸付事業		A	B	A	A	A	A	A
6 社会に開かれた教育課程の実現								
教育連携連絡協議会事業		A	B	A	B	A	A	A
学校運営協議会（コミュニティ・スクール）事業		A(B)	B	B	A	A	A(B)	A(B)

【コミュニティセンター課、スポーツ・文化振興課】

社会教育目標 : 学校・家庭・地域社会を調和した生涯学習の充実を図る中で、伝統の上に創造を、秩序の中に進歩を希求する姿勢を醸成する。

具現化方針	評価	教育委員会事務局評価					総合評価	教育委員会評価
		事業のニーズ	町関与の範囲	達成度	効率性	公平性		
1 生涯学習の推進								
社会教育委員運営事業		A	A	B	B	A	A	A
生き生き大学運営事業		B	B	B	B(C)	B	B	B
青少年育成町民会議支援事業		B	A	B	B	B	B	B
演奏家派遣事業		A	A	A	B	B	A	A
町民講座運営事業		A	A	B	B	B	B	B
成人式開催事業		A	A	A	A	A	A	A
家庭教育支援事業		A	B	B	A	A	A	A
コミュニティセンター管理運営事業		A	A	B	B	B	B	B
子どもの広場管理運営事業		A	A	B	B	B	B	B
2 読書活動の推進								
図書館管理運営事業		A	A	A	B	B	A	A
3 学校・家庭・地域の連携推進								
放課後子ども教室推進事業		A	A	B	B	B	B	B
地域学校協働本部事業		A	B	B(C)	A	A	A(B)	A(B)
4 人権教育の推進								
人権教育推進事業		A	A	B(-)	B	A	A(-)	A(-)
5 公民館活動(地域活動)の充実								
中央公民館運営事業		A	B	B	B	B	B	B
地区公民館施設整備支援事業		B	A	B	B	B	B	B
6 歴史・伝統文化の尊重								
演能会開催事業		A	A	B(-)	B	B	B(-)	B(-)
佐敷城跡調査事業		A	A	B	A	A	A	A
文化財保護審議会運営事業		B	A	B	A	A	A	A
文化財調査事業		A	A	A	B	A	A	A
文化財維持管理事業		A	A	A(B)	B	A	A	A
佐敷東の城跡調査事業		B	A	B(A)	B	B	B	B
文化財災害対策維持管理事業		A	B	A(C)	A	A	A(B)	A(B)
7 文化芸術活動の推進								
文化振興事業		A	A	B	A	B	A	A
文化祭開催事業		A	A	B	B	B	B	B
8 星野富弘美術館の充実								
星野富弘美術館運営事業		B	A	A	B	B	B	B
9 生涯スポーツの推進								
スポーツ振興支援事業		A	A	A(B)	B	B	A(B)	A(B)
温泉プール管理運営事業		A	A	B	B	B	B	B
総合型地域スポーツクラブ活動支援事業		B	B	B	B	B	B	B
体育イベント開催事業		A	A	B	B	B	B	B
芦北町スポーツ協会支援事業		A	B	B	B	B	B	B
スポーツ推進委員協議会運営事業		A	B	B	B	B	B	B
体育施設管理運営事業		B	A	B	B	B	B	B
地域資源活用総合交流促進施設管理運営事業		B	A	B	B	B	B	B

点検及び評価結果報告書

具現化方針			
事務事業名	教育委員会運営事業		
事業の概要	対 象	教育委員、教育職員及び関係者	
	目指すべき姿	芦北町教育立町の理念の下に設けた「学校教育目標」の実現による「教育立町あしきた」を確立する。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会議の開催（定例会12回、臨時1回） ・教育委員会権限下の規則等の制定、改廃 ・教育関係職員等の人事事務処理 ・学校運営の支援及び指導 ・教育委員会権限下の事務事業点検・評価 	
最終予算額	856千円	決 算 額	790,620円
事業の成果と課題	<p>教育委員会議を年間14回（定例会12回、臨時会2回）開催し、議案8件、報告37件を審議し、承認しました。</p> <p>教育委員会権限下における主要事務事業の点検及び評価作業や、令和6年度から令和9年度使用小学校教科用図書の採択などを審議するとともに、学校訪問や学校研究発表などを通して適宜、指導・助言を行いました。</p> <p>教育を取り巻く環境が複雑・多様化する中で、教育委員会の権限の強化とともに、より主体的な取り組みが求められています。今後も委員会活動の益々の活性化を図って参ります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	14回に及ぶ教育委員会会議が定期的実施され、また、小学校教科用図書の採択における審議や、学校訪問、学校研究発表など適切な指導助言が実施されている。今後も、各学校の課題解決に向けて、教育委員会の主体的な対応をお願いしたい。		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	学力等検査事業		
事業の概要	対 象	児童・生徒	
	目指すべき姿	児童・生徒一人一人の基礎学力の現状を把握し、個々の学習指導に結果を活用することによって、児童生徒の学力のレベルアップを図る。	
	具体的な事業内容	○小学校 ・学力検査・知能検査・スポーツテスト・QU検査 ○中学校 ・学力検査・知能検査・スポーツテスト・QU検査 ・標準学力検査（社会・理科）	
最終予算額	2, 935千円	決 算 額	2, 852, 617円
事業の成果と課題	<p>児童生徒の基礎学力の実態把握と改善策の検討資料として活用しました。また、町独自で県学力・学習状況調査の実施に合わせて中学1・2年生に対しても標準学力検査（社会・理科）を行い、結果を活用して指導方法の改善、学年・クラス・個人に合わせた学力の向上に取り組みました。</p> <p>スポーツテストでは、児童生徒の体力的な実態を把握することで「体」の発達を助長するための参考資料としています。</p> <p>今後は、各検査・テストの結果を最大限活かすため、各教科に応じた工夫を行い、本事業が一過性のものにならないよう、継続的に指導体制の改善を図っていく必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>全国学力学習状況調査及び町独自でも、中学1・2年生を対象に標準学力検査（社会・理科）を実施するなど、教育委員会が主体的に、児童生徒の基礎学力の定着、向上をめざして実施されている。また、スポーツテストにおいても、「体」の発達をめざして、資料の結果が生かされている。今後も、授業改善に役立ててほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	英語検定受検支援事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の中学校に在籍する生徒	
	目指すべき姿	経済的な負担軽減により受検の機会均等を図り、生徒の英語に対する学習意欲の向上、学力向上を目指す。	
	具体的な事業内容	受検者数・受検級を把握したうえで、各学校からの申請に対し、受検料を補助する。(年度内に受検する1回(1級分)の検定料)	
最終予算額	1, 336千円	決 算 額	1, 244, 500円
事業の成果と課題	<p>平成19年度に開始した事業で、経済的な負担軽減・受検機会の提供により、英語検定の受検に向けた取組を行い、学習意欲の向上・学力の向上に努めました。</p> <p>令和5年度は、この事業を活用した受検者数は369名でした。1年間で英語検定を受検した受検者(自費受検を含む)のべ392人のうち、合格者は208名、合格率は53.06%でした。中学3年生の3級以上保有者の率は43.08%で、熊本県の中学3年生における英検3級レベル相当以上の取得率の令和2～5年度目標値40%を上回る成果となりました。年々自費で受検する生徒が増え、生徒の英語学習意欲の高まりや英検受検への意識の高まりが見られます。令和5年度は、準1級を受検した生徒が2名おり、さらに高みを目指す生徒の育成にもつながっています。</p> <p>今後も語学指導事業と併せて、英語力強化に向けた取組を推進して参ります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	(B) A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A(B)	
学識経験者意見	<p>多くの生徒が英検に挑戦し、英検3級レベル相当以上の取得率が目標値を上回るなど、年々成果が見られる。</p> <p>また、自費での受検や、準1級にトライするなど生徒の英語学習への意欲が感じられる。今後も、それぞれの能力や生徒の自主性を尊重しながら、合格率を高めてほしい。</p>		
教育委員会評価	A(B)		
担当課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	小中学校情報通信教育推進事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小・中学校	
	目指すべき姿	ICT機器を効果的に活用し、町内全体の小・中学校における教育の質、児童生徒の学力及び学習意欲の向上を図るとともに、教育現場における教職員の負担を軽減する。文部科学省が提唱するICT環境整備方針「GIGAスクール構想」に沿った環境整備を行い、時代のニーズに合った教育を行う。	
	具体的な事業内容	ICT機器の整備（校務用PC、教育用PC、その他ICT機器など）を行う。校務用及び教育用ソフト等の導入によりICT機器を効果的に活用する。ICT機器等について、保守・サポート業務を委託することにより、機器の障害や操作サポート、授業づくりに対応する。	
最終予算額	37,400千円	決 算 額	36,836,741円
事業の成果と課題	<p>令和5年度においては、児童生徒の1人1台のタブレット端末や教職員分のタブレット端末、授業支援用ソフト（ロイロノートスクール）、その他ICT機器のソフトウェア更新や操作サポートを継続し、効果的な活用を推進しています。また、校務支援システム（ゆうnet）の運用により、教職員の校務効率化の改善が図られています。更に、学校毎にWeb会議用のアカウントを付与していることで、教職員が遠隔での会議や打合せが可能になり、事情に合わせた柔軟な働き方の可能性を広げることができました。</p> <p>今後は、各種機器が耐用年数を迎えるため、計画的な更新を行っていく必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>児童生徒及び教職員が、各情報通信機器を活用して、効果的に学習理解が図られたり、授業支援、校務の効率化が図られている。令和5年度には、学校毎にWeb会議のアカウントを付与するなど、学校間の会議、打ち合わせなどが可能になり、教職員の校務改善が進んでいる。今後は、機材の更新を計画的に進めてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	漢字検定受検支援事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の中学校に在籍する生徒	
	目指すべき姿	経済的な負担軽減により受検の機会均等を図り、生徒の漢字及び国語に対する学習意欲の向上、学力向上を目指す。	
	具体的な事業内容	受検者数・受検級を把握したうえで、各学校からの申請に対し、受検料を補助する。(年度内に受検する1回(1級分)の検定料)	
最終予算額	904千円	決 算 額	883,500円
事業の成果と課題	<p>平成25年度から開始した事業で、経済的な負担軽減・受検機会の提供により、漢字検定の受検に向けた取組を行い、学習意欲の向上・学力の向上につとめました。</p> <p>令和5年度は、この事業を活用した受検者数は375名でした。1年間で漢字検定を受検した受検者(自費受検を含む)のべ406名のうち、合格者は127名、合格率は31.28%でした。中学3年生の3級以上保有者の率は37.31%で、年々漢字検定受検への意欲の高まりが見受けられます。</p> <p>今後は、各学校の実態に合わせ目標値を設定するとともに、個人の学力に応じた目標達成に向けて取組を充実させる必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>全受検者のうち、合格率は30%台(3人に1人の合格)で、各学校の事前対策がさらに必要だと感じる。児童生徒の能力の差はあるが、実態に応じて、段階的に身近な目標を決めて挑戦させてほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	教育課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	指導主事配置事業		
事業の概要	対 象	芦北町立小中学校の教員及び児童生徒	
	目指すべき姿	芦北町総合計画（第二次）の基本理念「すべては、次代を担う子どもたちのために」及び芦北町教育大綱の基本理念「温故創新」（古きを学び知り 生きる力を培い 新しさを創る）の実現。	
	具体的な事業内容	若手教師の育成、小中学校間の連携の推進、芦北町の特色を生かした教育の達成に向け、教育委員会と学校間の関係を強化する。	
最終予算額	-千円	決 算 額	-円
事業の成果と課題	<p>指導主事を中心に進めている各中学校区の学校運営協議会（コミュニティ・スクール）では、地域の参画が図られ、それぞれの目標を共有し共通実践を図ることができました。また、「小中連携における目指す子ども像の系統表」を基に、五者連携の取組を全小中学校で推進することが出来ました。今後も、学校運営協議会と地域学校協働活動事業との一体的推進を図りながら、地域とともにある学校づくりを発展させ、子どもたちの成長を支えて参ります。</p> <p>学力面に関しては、初任者や若手教師を対象とした授業参観指導を積極的に行い、若手教師の授業力向上を図りました。また、芦北町学力向上部会を中心に町の学力向上のために取組みの方向性を確認しました。結果、12月の熊本県学力・学習状況調査結果は、4月の全国学力・学習状況調査結果と比較すると、小学校、中学校とも大きな伸びがみられました。今後は、課題がみられた無回答率の改善に向け、読解力向上や書くことの実践を図るため、学力向上部会を中心に、小中連携や小小連携をより推進し学力向上を図って参ります。</p>		
	教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>指導主事を中心に、各中学校区の学校運営協議会で、小中連携をめざして地域と一体となった取り組みが図られている。また、若手教師の授業力向上や学力向上部会など積極的な実践が見られる。さらには、若手教師の心のサポートもお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「徳」・・・豊かな心を育む教育の推進		
事務事業名	語学指導事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小中学校に在籍する児童生徒	
	目指すべき姿	外国語指導助手の活用により、外国語の学習意欲を高め、多様な異文化の認識、相互理解、コミュニケーション能力等を身につけ、豊かな心を育むことを目指す。	
	具体的な事業内容	外国語指導助手（3名）を招へいし、全ての小中学校の外国語活動及び英語授業の助手として活用する。 児童生徒の授業の充実に取り組む中で、コミュニケーション能力を培い、自分自身のことを他者へ伝えることが出来る児童生徒の育成を図る。また、外国人指導助手との触れ合いにより、人や文化など他と関わろうとする心を育む。	
最終予算額	15,246千円	決 算 額	15,246,000円
事業の成果と課題	<p>外国語を話す力、聞く力の向上を図ることを目的に、語学指導の経験者など、経験や実績のある高い指導力を持ったアメリカ出身3名を招へいし、質の高い外国語指導を行うことが出来ました。</p> <p>外国人指導助手を活用し、生の外国語に直接触れることで、授業内容の理解が深まり、児童生徒の外国語に対する意識が高まりました。</p> <p>今年度の児童生徒アンケートの結果では、「英語の勉強が楽しい」「これからも英語を学びつづけたい」と思う児童生徒の割合が80%未満であったため、今後は、児童生徒の興味・関心をより高めるために、特に授業外でのALTと児童生徒の関わりをこれまで以上に増やし、英語の授業や学びに対し、意欲的に捉える児童生徒の割合が毎年度80%以上を維持していく取組が必要です。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>児童生徒は、アメリカ出身者3名の外国人指導助手の活用で、生きた外国語と他国の文化を意欲的に学んでいる。令和5年度のアンケートでは、「英語の勉強が楽しい」が8割未満ということで、小学校の外国語活動から英語に教科化されたことが、中学校への円滑なつながりとなっているのか心配である。今後も小中相互の英語授業の参観、交換指導など実施して指導者の連携をさらに密にしてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「徳」・・・豊かな心を育む教育の推進		
事務事業名	論語教育推進事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小中学校に在籍する教職員及び児童生徒	
	目指すべき姿	人としての生き方・在り方について書かれた「論語」について、素読など各校において特色ある取組みを行うことで、徳育の推進を図る。	
	具体的な事業内容	芦北町教育委員会発行の「論語百選」に基づき、各学校において特色ある論語教育を実施する。 令和5年度実績 論語百選の配布 論語指導員講師による論語講演（佐敷小・佐敷中・湯浦中）	
最終予算額	20千円	決 算 額	20,000円
事業の成果と課題	本町では、町独自に論語の素読を中心とした「論語教育」に取り組んでいます。取組内容は、各学校独自のもので、朝の学びの時間での素読、放送委員による校内放送による全校一斉素読、校舎内の廊下や教室への掲示など様々であり、児童生徒の論語への興味関心を高めることで、徳育の推進を図っています。これらにより、論語に触れるきっかけが増え、古典や漢文への親しみが持てるようになるほか、論語の意味を知ること、人としての道や考え方に触れ、相手を尊重する心や、決まりを守ろうとする心といった道徳心が養われ、素直で規範意識の高い児童生徒の育成に大きく寄与しています。 課題として、学校活動での時数では制限があるため、取組を工夫しながら児童生徒の興味関心を高めていく必要があります。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	町独自の論語教育も10年以上となり、道徳心を高めるとともに、古典や漢文にも興味を示すなど徳育の推進が図られている。課題として、取組みや指導法に学校間差はあるが、ある程度は、各学校の実情に任せて、学校色のある「論語教育」の推進をお願いしたい。		
教育委員会評価	B		
担当課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「体」・・・健康・体力づくりの推進		
事務事業名	教職員等健康診断事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小中学校に在籍する児童生徒及び所属の教職員	
	目指すべき姿	児童生徒が心身ともに健康な状態で学校生活を送るために自らの成長と健康を把握するとともに、教職員が安心して教育活動に取り組むため、自らの健康について把握することを目指す。	
	具体的な事業内容	医師会等へ業務委託契約し、日程調整等を行い、健康診断を実施し、結果を通知する。必要があれば、委託先の専門家から適切な指導・助言を行ってもらう。	
最終予算額	2,367千円	決 算 額	2,054,935円
事業の成果と課題	<p>児童生徒については、自分の成長と健康について把握することができ、病気の早期治療や予防に役立っています。</p> <p>教職員についても、健康診断により、自身の健康状態を把握することに繋がっています。早期発見を行うことで、治療・療養又は定期的な通院等を行うことができています。近年は心の病気を患う教職員も少なくないため、メンタルヘルス調査と併せストレス調査を実施することで、自身のストレスに気づきセルフケアなどを通じて不調となることを未然に防止する役目を果たしています。</p> <p>本事業により、児童生徒及び教職員が健康で安心した学校生活を送ることが保たれています。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	児童生徒が自らの成長と健康を把握し、病気の早期発見や治療などに活かされている。また、教職員は健康診断で、病気の早期発見やメンタルヘルス調査など、早期の治療やストレスの度合いの把握で、安心して勤務できる体制が図られている。		
教育委員会評価	A		
担 当 課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「体」・・・健康・体力づくりの推進		
事務事業名	各種大会等参加費助成事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小中学校に在籍する各種大会に参加する児童生徒	
	目指すべき姿	各種大会への参加について、参加者輸送費の助成をすることにより、多くの児童・生徒の大会参加・競技力向上を促進する。	
	具体的な事業内容	各種大会へ参加するための民間バス借上げ料について、学校の申請により必要な経費を助成する。	
最終予算額	762千円	決 算 額	562,100円
事業の成果と課題	<p>スポーツ部門・文化部門において参加可能な全ての大会に参加できており、機会均等が図られています。令和5年度の延べ参加者数は268名でした。</p> <p>なお、事業の効率性を高めるために少人数での参加については、スクールバスの利用を積極的に行っています。</p> <p>令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けることなく各大会が予定どおりに行われ、参加資格を満たす全ての大会に出場することができました。</p> <p>今後は、コロナ禍で運動する機会が奪われていた生徒たちの運動機会・大会参加機会を十分に確保し、健全で健康的な身体づくりに繋げて参ります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>令和5年度は、コロナ感染症の影響を受けずにスポーツ・文化部門において可能な全ての大会において意欲的に出場している。また、少人数での参加については、スクールバスの輸送支援が図られるなど、競技力の向上をめざした配慮ある対策が講じられている。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「体」・・・健康・体力づくりの推進		
事務事業名	学校給食センター管理運営事業		
事業の概要	対象	児童・生徒、教職員	
	目指すべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・食事について正しい理解と望ましい食習慣を養う。 ・学校生活を豊かにし、明るい社会性を養う。 ・食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。 ・食料の生産、配分及び消費について正しい理解を解く。 	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校児童・生徒及び教職員等への給食の提供。 (児童生徒は学校給食費無償) ・各学校への栄養士による食育指導。 	
最終予算額	140,388千円	決算額	132,057,026円
事業の成果と課題	<p>学校給食においては、食中毒の予防など衛生管理を徹底し、安全・安心な栄養バランスのとれた給食や地元の食材を使った地産地消の給食を提供しました。また、食物アレルギーを持つ児童生徒にはアレルギーに対応した給食の提供を行いました。</p> <p>栄養士の町内小中学校等での食育指導では、食事についての正しい知識等を児童生徒に浸透させることができました。</p> <p>今後も引き続き安全・安心な給食の提供を行うとともに、食中毒を出さないように衛生管理を徹底して参ります。</p> <p>なお、令和5年度から、学校給食費会計を私会計から公会計へ移行し、会計の公正・透明性を図るとともに、計画的な食材調達及び安定的な学校給食の提供を可能とする体制を整えました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>学校給食の衛生管理、栄養バランス、食材の地産地消、アレルギー対応などきめ細かい対応がとられている。また、栄養士による食育指導も毎年実施されて、食事についての正しい知識と態度の育成が図られている。さらに、給食費無償化に伴い公会計の透明性を図るなど、望ましい学校給食センターの運営が実施されている。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	「体」・・・健康・体力づくりの推進		
事務事業名	給食費無償化及び給付金交付事業		
事業の概要	対 象	町内小中学校に在籍する児童・生徒、町外小中学校に通学する児童・生徒の保護者（給付金は本町に住所を持つ者に限る。）	
	目指すべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の経済的負担を軽減することにより子どもの成長を社会全体で支え、子育て支援を推進する。 ・子どもたちの安心で充実した食の環境の安定に資する。 ・未来に向けた芦北町への移住定住の促進を図る。 	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校児童・生徒に対する学校給食費の無償提供 ・町外小中学校に通学する児童・生徒の保護者に対する町給食費を限度とした給付金の交付 (無償化) 1,007人：54,382,296円 (給付金) 12人：583,507円 	
最終予算額	58,535千円	決 算 額	54,965,803円
事業の成果と課題	<p>令和5年度から子育て支援の推進を目標とし、町内の小中学校児童生徒の「給食費完全無償化」を開始しました。子どもたちを養育する保護者の経済的負担を軽減することにより、子どもの成長を社会全体で支えるという理念のもと、多くの子育て世帯を対象とした支援となりました。</p> <p>また、町内小中学校児童生徒の給食費無償化に留まらず、町外の小中学校に通学する児童生徒の保護者に対しても給食費相当額となる給付金を交付いたしました。これは、町外の小中学校であっても町内に住所を持つ保護者が申請を行うことにより当該給付金を受給できるもので、子育て環境の整備充実を町内外へアピールするとともに、町外から芦北町への移住定住の動機付けとなることを期待するものです。</p> <p>今後も子育て支援の拡充を図り、子育てしやすいまちづくりを行い、芦北町の魅力を情報発信しながら、子どもたちの成長を支えていくために事業を展開して参ります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>全国的な動きとは言え、給食費の完全無償化、給付金の交付など、子育て世帯にとってありがたい施策である。少子化、物価高騰など保護者の経済的負担の軽減、子どもを社会全体で支えていくということは、これからの国、県、市町村の大きな役割と言える。また、芦北町への移住定住の促進の施策も期待したい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	不登校対策及び特別支援教育の推進		
事務事業名	子ども自立支援室事業（自立支援室指導員、不登校対策支援員配置）及び特別支援教育事業（教育支援委員会、特別支援教育支援員配置、特別支援教育奨励費援助事業）		
事業の概要	対 象	教育的支援が必要な児童生徒	
	目指すべき姿	現在登校できない状態にある児童生徒に自立支援室という集まれる場を確保し、指導員による学習指導等を行い、学校への帰属意識を高める。また、特別に支援が必要な児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な援助を行う。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自立支援室（週2回開催）における学習指導等 ・教育支援委員会による専門的知識を有する者の意見聴取 ・会計年度任用職員（不登校対策支援員・特別支援教育支援員）の配置 ・特別支援教育関係機関との連携を通じた支援体制の推進 ・特別支援教育就学奨励費による経済的援助 	
最終予算額	54,570千円	決 算 額	51,202,253円
事業の成果と課題	<p>不登校や不登校傾向にある児童生徒一人一人の課題が違うため、学校及び不登校対策支援員との細やかな情報交換が必要になってきます。自立支援室には2名の指導員を配置し、子どもの学習の困難さや意欲低下、適応指導について丁寧に対応を行っています。また、困り感のある児童生徒（未就学児を含む。）の保護者に対し、教育相談会を開催し、園・学校と情報を共有しました。教育支援委員会においては、関係機関や専門家の意見を聴取し、必要な支援や適切な就学先について審議を行いました。特別支援教育については、保護者だけでなく、祖父母等家族の理解を得ることが課題です。特別支援教育支援員による支援の充実と学習効果の向上や学校生活面での安定を図るため、令和5年度は前年度より1名増の17名を配置し、特別支援教育支援員の専門的知識の向上取得のため、専門家による研修会を年2回開催しました。特別支援教育就学奨励費補助金については、特別支援学級に在籍する児童生徒に経済的支援を行っています。今後も、事務処理等に遺漏のないように努めます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>自立支援室指導員、不登校対策支援員、特別支援教育支援員の配置など、適材適所に配置し、子どもの学習支援、適応指導、学校生活全般にわたっての支援など、児童一人一人の課題解決に向けた取り組みが行われている。今後もさらに、支援員の研修も充実させてニーズに対応した支援をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	準要保護児童生徒就学援助事業		
事業の概要	対 象	経済的な理由により就学が困難な児童生徒（保護者）	
	目指すべき姿	対象者に必要な援助を行うことで、子どもが安心して教育を受けられ、教育の機会均等が図られる。	
	具体的な事業内容	就学援助費の支給 ・学用品費、通学用品費、給食費、修学旅行費、新入学学用品費、校外活動費、卒業アルバム代	
最終予算額	18,105千円	決 算 額	14,245,495円
事業の成果と課題	経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を行うことで、児童生徒が平等に教育を受ける環境の整備が図られました。 令和5年度の認定者数は、小学校が98名、中学校が62名の合計160名でした。また、小中学校入学前に必要な学用品等の購入が出来るよう、新入学児童生徒学用品費等を小学新1年生12名に対し、648,720円、中学新1年生23名に対し、1,449,000円の合計2,097,720円の援助を行いました。 今後も一人親世帯や不況・失業等、社会情勢の変化に伴い、事業の必要性は増すことが予想されることから、引き続き周知の徹底を図る必要性があります。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	一人親世帯、不況、失業など社会情勢の変化に伴う経済的困難状況にある保護者に就学援助費の支給が行われていることは、保護者にとってありがたい事業である。 今後もさらに、家庭状況を把握した対応をお願いしたい。		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	安心・安全な教育環境の整備推進		
事務事業名	スクールバス運行事業		
事業の概要	対 象	小学校5校及び中学校3校	
	目指すべき姿	自宅から学校への遠距離の徒歩通学は、時間的、体力的に児童生徒の負担となり、また、事故や事件等の危険性も高い。その対策として、スクールバスの活用により、児童生徒の通学の負担軽減と安全の確保を図る。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカー10人乗り4台 ・スクールバス29人乗り17台 ・人材派遣会社へ運転業務を委託して実施 	
最終予算額	42,080千円	決 算 額	40,750,898円
事業の成果と課題	<p>学校の統廃合が進み、児童生徒の通学距離が長距離となる傾向の中、児童生徒の徒歩による通学は安全確保上厳しい状況にあります。そのような現状に対応するため、スクールバスの活用による遠距離通学者の安全な登下校の確保をめざします。また、登下校以外の校外活動や部活動での利用を行うことで更なる利便性を図ることができ、教育行政の機会均等化の実現とそれによる学力向上の貢献により資することが可能となります。</p> <p>令和5年度は3年間の長期継続契約の最終年度であり、今後のより良いスクールバス運行計画の策定を行うため、スクールバス利用者である児童生徒やその保護者に対し、アンケートの実施やスクールバス利用についての調査を行いました。その後、利用者の要望にお応えできる運行設計を策定し、令和6年度からの新たなスクールバス事業に備えることができました。今後も、将来における安全かつ利便性の高いスクールバス事業を展開するため、委託業者との連携の強化を図ってまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>スクールバスの運行計画、見直しなどアンケートを実施して、運行設計を策定することは、安全で利便性を図る上から重要である。委託業者はもちろん、バス運転士との意思の疎通が滞らないようにお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進の確立		
事務事業名	通学費補助事業		
事業の概要	対 象	遠距離通学、公共交通機関利用の通学を行う児童生徒	
	目指すべき姿	遠距離通学に係る経費、公共交通機関を利用した通学に係る経費を補助し、通学距離・手段による負担の格差を解消することで教育の機会均等を図る。	
	具体的な事業内容	民間バス利用通学、鉄道利用通学に要する費用を、対象者個人の申請により補助する。また、小学校4 km以上・中学校6 km以上の距離を通学するスクールバス非利用者に対し、学校の申請により補助する。	
最終予算額	1, 108千円	決 算 額	855, 400円
事業の成果と課題	通学に係る費用を補助することで保護者への経済的援助を行い、教育の機会均等が図られています。また、公共交通機関を利用した通学者には通学に係る経費の補助を行っており、公平性が保たれています。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学費補助金（13人中13人利用） ・通学費補助金（16人中13人利用） 		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	遠距離通学者のために、公共交通機関利用における費用の助成が適切に行われている。対象者は少ないが、これからも実態を把握して漏れがないように確認をお願いしたい。		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	小中学校維持管理事業		
事業の概要	対 象	町内全小中学校	
	目指すべき姿	学校施設の整備を図ることにより、安全で快適な教育環境を提供する。	
	具体的な事業内容	各小中学校修繕の外、田浦小、大野小、湯浦小及び内野小におけるトイレ洋式化改修工事、湯浦小学校屋上防水改修工事、佐敷小学校難聴学級環境整備工事、湯浦中学校屋外污水排水管改修工事、芦北町立湯浦中学校電話設備改修工事及び湯浦中学校職員室空調機取替工事を実施した。	
最終予算額	225,933千円	決 算 額	216,899,097円
事業の成果と課題	<p>学校施設の改修を行ったことで、安全で快適な教育環境が生み出され、児童生徒は充実した生活を営むことができました。</p> <p>今後の課題としては、建築からかなりの年数が経過して老朽化が進行している校舎及び施設が多く、今後は費用の面から緊急度・優先度を見極めて整備する必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
	<p>具体的な事業として、令和5年度は各小学校のトイレの洋式化改修工事ほか、防水工事、難聴学級の環境整備工事、污水排水工事、電話設備、空調機取替工事など多くの小中学校で改修工事が行われた。大変ありがたいことである。今後はさらに、校舎そのものが老朽化している学校も多く、外壁の塗装工事、ひび割れ工事、建て替えの有無など急ぐところから検討してほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	奨学資金貸付事業		
事業の概要	対 象	高等学校、大学及びこれらと同程度の学校に修学する者	
	目指すべき姿	高校、大学等に進学を希望する学徒で、経済的な理由により修学が困難な者に対して奨学資金を貸与し、学習の機会を確保する。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校（同程度の学校に修学する者含む。）1人当たり月額1万5,000円以内の貸付 ・大学（同程度の学校に修学する者含む。）1人当たり月額5万円以内の貸付 ・入学準備金50万円以内の貸付 	
最終予算額	24,000千円	決 算 額	23,640,000円
事業の成果と課題	<p>事業の成果は、新規申請者11名（大学11名）に対して、全員を奨学生として採用し、教育の機会均等に資することができました。継続貸付者は24名で、合計35名を奨学生として採用しています。</p> <p>現年度分の収納率は98.51%、過年度分の収納率は5.77%です。現年過年合わせた令和6年度への滞納繰越額は2,362,500円となり、令和5年度の滞納繰越額2,236,500円から126,000円増加しました。今後は滞納額の縮減に向け、催告状の送付や訪問徴収、滞納者個別の納付計画の立案等を実施していく必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>新規を含めて、奨学金の貸与は、学ぼうとする学生の意欲を高め保護者の経済的負担軽減からも大切な事業である。</p> <p>しかし、滞納繰越の総額が200万円以上と回収できていない現実、借りようとする保護者、学生の意識の低下ではないかと心配する。滞納者の納付の個別計画はもちろんであるが、新規の時の返済計画など、しっかりと確認しておくことが大切である。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	社会に開かれた教育課程の実現		
事務事業名	教育連携連絡協議会事業		
事業の概要	対 象	町内小中学生、保育園児（未就学児）	
	目指すべき姿	保育園等から小学校へ、小学校から中学校へ滑らかに移行できるように、様々な取組みを行い、学校に対する不安や抵抗感をなくすとともに、各機関の連携を図った教育指導等を確立する。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育連携連絡協議会開催 ・幼保小中連携部会・特別支援教育連携部会の開催 ・校区別担当者（コーディネーター）会議の開催 ・各関係機関との交流活動 	
最終予算額	143千円	決 算 額	77,686円
事業の成果と課題	<p>保・小・中間の就学の滑らかな移行を推進する幼保小中連携と特別支援教育に関する取組みを更に推進し、様々な状況に対応することができる体制づくりと関係機関との連携を図るため、年間を通じた事業活動に取り組みました。保・小・中担当者の専門的知識の向上のための研修や、幼保小中連携カリキュラムと目指す子ども像の系統表を確認し、協働で一体的な取組みの重要性の共通理解を図りました。教育現場や家庭が抱えるさまざまな課題に対して共同で取組み、効果的な解決策を見出す力の強化と子どもたちが「自分の良さを生かす」ことができる多様なニーズに応える教育力の強化に繋がっています。引き続き、関係機関においては、各校区の課題に取り組むための持続可能な体制づくりと情報共有への理解と協力が不可欠です。</p> <p>すべての子どもがその違いや特別なニーズに関わらず、同じ場で学び、成長することを旨とする教育の理念及び実践を指す「インクルーシブ教育」のシステム構築のため、物理的な学習環境の整備や一人一人の能力を最大限に発揮できるような支援が必要です。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>幼保小中連携、特別支援教育との連携及び関係機関との連携による年間を通じた事業活動が展開され、学校や家庭で抱える多くの課題解決がなされている。これからの学校がめざす「多様性の重視」と「インクルーシブ教育」の実現をめざして、さらに地域の協力を求めながら、社会に開かれた学校づくりを推進してほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	社会に開かれた教育課程の実現		
事務事業名	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小・中学校	
	目指すべき姿	学校が、保護者や地域住民等と育てたい子ども像や目指すべき教育の目標を共有し、保護者や地域住民等の学校運営への参画や支援・協力を促進することにより、信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成を図る。	
	具体的な事業内容	中学校区毎に、学校運営協議会を設置し、地域の子どもを中心にしながら、子どもたちの成長や学びについて協議を行う。	
最終予算額	1, 272千円	決 算 額	795, 628円
事業の成果と課題	<p>中学校単位の学校運営協議会（コミュニティスクール）では、五者（学校・子ども・家庭・地域・行政）が連携し、地域住民の参加を促し、地域の特色を生かした教育を行うため校区における目標を共有し、共通実践を図るために協議会で活発な協議を行っています。</p> <p>校区での課題に対して、委員がそれぞれの立場や経験をもとに意見を出したり、地域学校協働活動とつなげたりしながら解決に向けて進めています。</p> <p>令和5年度は、校区で5回の協議会を実施したほか、氷川町視察研修を実施し多くの先進的な取組を学びました。</p> <p>今後も、学校運営への支援や課題解決のための手立てを協議し、それぞれの中学校区で地域独自の新たな取組等に繋げ学校を支援して参ります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	(B) A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A (B)	
学識経験者意見	<p>五者が連携し、地域の特色を生かした教育実践は、「学校、家庭、地域の教育力」を高める上で、とても素晴らしいことである。また、氷川町の取り組みを視察研修するなど、先進地に学び、新たな取り組みを模索することも重要で、地域一体となって子どもを育てていくという基盤ができつつある。</p>		
教育委員会評価	A (B)		
担 当 課	教 育 課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	社会教育委員運営事業		
事業の概要	対 象	社会教育委員	
	目指すべき姿	社会教育法第15条に規定される社会教育委員は、教育委員会の諮問に応じ助言や意見を述べるなど、更なる家庭教育や地域教育力の向上を目指す。	
	具体的な事業内容	教育委員会事務局が提示した、社会教育各種計画案の審議、または、社会教育法第17条第3項に規定される教育委員会から委嘱された青少年教育の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者に対し、助言や指導を行う。	
最終予算額	1,108千円	決 算 額	803,963円
事業の成果と課題	<p>年2回（5月・2月）の社会教育委員会を開催し、社会教育に関する事業について提言・意見をいただきました。</p> <p>また、9月に八代市で開催された熊本県社会教育研究大会や、1.1月に開催された九州ブロック社会教育研究大会（宮崎市）に参加し、各委員の教養を高めるとともに、理解を深めることができました。</p> <p>今後も研修等に積極的に参加し、職員、委員の資質向上を図っていきます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>社会教育委員会（2回）や、熊本県社会教育研究大会（八代市）、九州ブロック社会教育研究大会（宮崎市）など、社会教育委員や担当職員の研修の充実が図られている。今後は、生涯学習のさらなる発展のために、社会教育委員の「生涯学習に対する思いや提言」など、まちだより等で広報するのも意義があると思う。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	生き生き大学運営事業		
事業の概要	対 象	高齢者（60歳以上）	
	目指すべき姿	急激に変貌する現代社会にあつて、高齢者が社会に適応し、豊かで生きがいのある生活を創造するための一助となることを目的とする。	
	具体的な事業内容	全地区を対象に受講生を募集し、4地区（田浦・佐敷・湯浦・大野）において毎月1回（年間9回）のクラブ活動（ヨガ、健康料理教室等）を実施している。	
最終予算額	1,089千円	決 算 額	287,448円
事業の成果と課題	<p>令和5年度は、14講座中4講座を開講し感染症対策を行いながら年間を通してクラブ活動を実施することができました。</p> <p>課題としては、感染症等による学習意欲の低下が挙げられるため、新規講座の開設など事業内容を検討し、学習意欲の向上と受講生の増加を図ってまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	(C) B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>コロナ禍は、下火になったとは言え、まだまだ感染者は後を絶たない現実がある中に、安全面を十分に配慮しながら4講座開講し、受講者と主催者の熱心な学びへの思いが感じられる。</p> <p>今後も、健康安全を第一に考え実施してほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	青少年育成町民会議支援事業		
事業の概要	対 象	町内の青少年	
	目指すべき姿	青少年健全育成町民会議の活動を支援することにより次代を担う青少年の健全な育成を図る。	
	具体的な事業内容	一日一汗運動への青少年の参加要請、夏祭り街頭指導、講演会、青少年発表支援、新成人への心の健康啓発	
最終予算額	300千円	決 算 額	199,057円
事業の成果と課題	<p>一日一汗運動では地域活動への青少年の参加促進を図り、夏祭り街頭指導では青少年の非行防止に取り組みました。</p> <p>また、保護司会及び郡公民館連絡協議会と共催し、命をテーマとした講演会を開催しました。新成人への心の健康啓発も行い、青少年の健全育成に努めました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>青少年参加の一日一汗運動の取り組みや、夏祭りでの街頭指導など、青少年の健全育成をめざした取り組みが計画的に実践されている。また、保護司会と郡公民館連絡協議会と共催の「命」をテーマとした講演会は、心の健康、醸成の啓発につながっている。今後は、町内外の出身成人者に、社会貢献活動としてのボランティア活動に積極的に参加できるような体制づくりも考えてほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	演奏家派遣事業		
事業の概要	対 象	町民・小学生	
	目指すべき姿	次世代の音楽文化を担う子どもたちが音楽の素晴らしさや楽しさを体感し、豊かな心を育むとともに、住民の心を豊かにし、魅力的なまちづくりを実現する。	
	具体的な事業内容	<p>県立劇場と共催で各小学校に演奏家を派遣し、出前講座を行う。限られた空間で生の音に触れ演奏家との対話を通じて音楽を楽しむことを目的とするもの。</p> <p>各小学校での出前講座終了後は、派遣の演奏家による町民向けの演奏会を開催する。</p>	
最終予算額	620千円	決 算 額	550,000円
事業の成果と課題	<p>各小学校にて、生の演奏に加え、実際に楽器に触れるなどの体験や、児童の意見、感想を聞くなどのコミュニケーションを通じた出前講座を実施しました。</p> <p>その後のアンケートにおいて、前よりも音楽が好きになった、音色がとてもきれいだった、また演奏を聴きたいと思った等、高評価をいただきました。</p> <p>また、出前講座終了後は、11月に活性化センターにおいて派遣した演奏家による町民向けの演奏会を開き、約120名の参加があり生演奏に触れた来場者から好評を得ました。</p> <p>【出前講座】 11月実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内野小・・・コントラバス ・田浦小、湯浦小・・・箏 ・佐敷小、大野小・・・ヴァイオリン 		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>演奏家派遣事業による出前による生の演奏会は、子どもたちの音楽のすばらしさを体得させる上からも大切な事業と言える。児童のアンケートでも、音楽に興味を持っていることが伺える。また、町民を対象とした演奏会も好評で、町民の心を育むすばらしい取り組みである。今後も続けてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	町民講座運営事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	町民の教養の向上、生きがいや仲間づくりのため、町民自らが学習のテーマを持って学習活動に取り組む	
	具体的な事業内容	年間を通して趣味や健康づくり、教養等の講座を実施。 町民講座 31 講座、子ども講座 4 講座の開講	
最終予算額	6, 282千円	決算額	4, 405, 201円
事業の成果と課題	<p>1人につき3講座まで受講でき、同じ講座の受講は最大5年間と制限を設けることによって、より多くの方に受講する機会を与えられるよう考慮しています。また、町民講座の受講生などにアンケートを実施し、次年度の講座選定の参考としています。</p> <p>令和5年度は、町民講座31講座中24講座を、子ども講座3講座を開講し、年間を通して実施することができました。</p> <p>今後も、ニーズに沿った講座の開講など、魅力ある事業を実施してまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>魅力的な講座の開講にむけて受講者にアンケートをとり、ニーズに対応した講座が開講され、楽しく学ぶ学習活動が実施された。今後はさらに、芦北町の魅力をもっと学習できるような「地域発見」という視点から、例えば、「芦北町の方言と民話の研究」の講座や、「村の祭りと伝統行事」などの民俗学の講座など面白いと考えられる。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	成人式開催事業		
事業の概要	対 象	新成人（令和5年度は平成15.4.2～平成16.4.1生）	
	目指すべき姿	成人式実行委員会を発足し、式典の一部を運営することによって、地域づくりの担い手としての自覚を持ち、成人を全員でお祝いし、活躍してもらう。	
	具体的な事業内容	成人の前日に成人式の開催 令和5年度 対象者 144人（うち出席者 124人）	
最終予算額	612千円	決 算 額	538,567円
事業の成果と課題	<p>令和6年1月7日に、芦北町民総合センター（しろやまスカイドーム）で開催しました。</p> <p>8月に新成人による成人式実行委員会を発足し、式典へ向けて準備を行いました。実行委員においては、自分たちの成人式という意識の元、積極的に取組み、式典の一部運営を担いました。</p> <p>昨年に引き続き、事前に受付カードを送付する等、混雑緩和のための対策を行い、混乱もなく、成人者及び保護者から喜びの声を多数いただきました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	成人者で実行委員会を組織して、教育委員会の助言を受けながら実行委員が式典の準備を行い、「参加して良かった」と思える主体的な成人式が毎年行われている。保護者からも好評である。今後も、さらに趣向を凝らした式典を期待したい。		
教育委員会評価	A		
担当課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	家庭教育支援事業		
事業の概要	対 象	町内小・中学校児童生徒、保護者	
	目指すべき姿	家庭の教育力の向上を図るとともに、不登校や問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応により、児童生徒の健やかな成長に資する。	
	具体的な事業内容	支援員3名を配置（拠点：コミュニティセンター課） 町内小・中学校を管轄し、各種相談に対応 小・中学校の要請に応じ、「親の学び」講座を開催 家庭教育情報誌の発行	
最終予算額	1,138千円	決 算 額	688,299円
事業の成果と課題	支援員を増員して各中学校区に配置し、保護者等からの様々な相談対応や、「親の学び」講座等を実施しました。		
	令和5年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 35件 ・「親の学び」講座開催 1回 ・小学生への命の授業 1回 	
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	保護者の様々な相談体制が整い、令和5年度は相談件数が35件に増加するなど、不登校や問題行動などの早期発見、未然防止に繋がっている。また、「親の学び」講座や命の授業を開催し、児童生徒の健やかな成長をめざした取り組みが行われている。今後もさらに、家庭の教育力向上に向けた講座の内容を考えてほしい。		
教育委員会評価	A		
担当課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進								
事務事業名	コミュニティセンター管理運営事業								
事業の概要	対 象	コミュニティセンターの施設設備							
	目指すべき姿	コミュニティセンター施設使用者が、安全で快適に利用できるよう施設を管理運営する。							
	具体的な事業内容	各種施設設備（電気保安業務、エレベーター保守等）点検や施設管理、警備や清掃等の業務委託、施設の維持管理							
最終予算額	18,176千円	決 算 額	14,947,445円						
事業の成果と課題	<p>芦北町総合コミュニティセンターに係る、各種設備点検、清掃、警備等の業務委託を行い、施設の維持・管理に努めました。</p> <p>また、来館者が安全・安心で快適に利用できるよう、適宜消毒、清掃を行いました。</p> <p>○令和5年度の利用者数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・公民館・・・・・・・・10,894人</td> <td style="width: 50%;">・歴史資料展示室・・・・・・・・1,101人</td> </tr> <tr> <td>・図書館・・・・・・・・42,724人</td> <td>・子どもの広場・・・・・・・・42,689人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">利用者の合計 97,408人</td> </tr> </table>			・公民館・・・・・・・・10,894人	・歴史資料展示室・・・・・・・・1,101人	・図書館・・・・・・・・42,724人	・子どもの広場・・・・・・・・42,689人	利用者の合計 97,408人	
・公民館・・・・・・・・10,894人	・歴史資料展示室・・・・・・・・1,101人								
・図書館・・・・・・・・42,724人	・子どもの広場・・・・・・・・42,689人								
利用者の合計 97,408人									
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない						
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討						
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った						
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり						
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり						
	総合評価	B							
学識経験者意見	<p>定期的に、各種の設備点検、清掃、警備など適切な維持管理が行われている。また、令和5年度の利用者数が前年度に比べて2万人以上増加するなど図書館蔵書の入れ替えや、施設内の快適空間、利用者のニーズに対応した生涯学習の拠点としての役割が推進されている。</p>								
教育委員会評価	B								
担 当 課	コミュニティセンター課								

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	子どもの広場管理運営事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	子どもの広場の利用者が、安全で安心して利用できるよう施設を管理運営する。	
	具体的な事業内容	施設内清掃、遊具の消毒。 各種イベント（季節の行事に合わせたワークショップや木工教室等）の開催。	
最終予算額	9, 7 7 3千円	決算額	9, 5 4 6, 1 1 9円
事業の成果と課題	<p>子どもの広場では、施設内の清掃、遊具の消毒を行い、利用者の見守りを行うなど安全・安心に配慮して運営しました。</p> <p>また、季節の行事に合わせたワークショップ、木工教室、ハーバリウムワークショップ、クリスマスリース&しめ縄づくりワークショップ、肥薩おれんじ鉄道とのコラボイベントなどを実施しました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>子どもの広場の施設の清掃、遊具の消毒など利用者の衛生と安全を配慮した対応が適切に図られている。また、季節に合わせたワークショップ、木工教室、ハーバリウムワークショップ、クリスマスリース、しめ縄作り、肥薩おれんじ鉄道との共催イベントなど魅力的な企画で事業が運営されている。今後もさらに、楽しい企画を期待したい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	読書活動の推進		
事務事業名	図書館管理運営事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	教養、調査、読書活動等に資する資料を提供し、知の情報拠点となる。また、子どもの頃から読書・本に親しみ、生涯にわたり学習する意欲を養い心豊かな人間性を育む。	
	具体的な事業内容	図書館システムの活用により、図書等を収集・整理・保存し、利便性の高い利用者サービスを提供すると共に、町立図書館の適切な施設管理をおこなう。また、館内展示やPOPコンテストの実施、学校図書室の環境整備支援等を通じ読書活動を推進する。	
最終予算額	26,028千円	決算額	25,794,352円
事業の成果と課題	<p>図書館では、貸出利用の多いマンガの書架拡大や購入図書の帯を活用した読書案内などにより、図書館環境を充実させるとともに、適切な蔵書管理を行い、心豊かな人間を育む知の情報拠点としての機能を果たしました。</p> <p>利用者数、貸出冊数については、R2.12の新図書館開館以来、増加傾向にあります。</p> <p>利用者数(R元) 4,463人(R2)10,764人(R3)30,245人(R4)33,173人(R5)42,724人 貸出冊数(R元)10,266冊(R2)12,937冊(R3)41,607冊(R4)45,003冊(R5)52,900冊</p> <p>また、県博物館ネットワークセンターや役場各課と連携した企画展示、自主特集展示、ホームページ上での情報発信、POPコンテスト、ブックスタート事業、子どもの広場と連携した読み聞かせなどにより、町民が本に親しむ機会を創出しました。</p> <p>さらに、小中学校図書室運営支援や、全校全クラスへの学級文庫の配本、児童生徒の美術作品等の図書館内掲示など学校との連携を図りました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>町民のニーズに対応し、漫画の蔵書数を増やしたり、企画展の開催をしたり、各学校への配本活動、読み聞かせ、各種の情報発信、児童生徒の美術作品の掲示など、魅力的な事業運営が実施されている。とくに、利用者数、貸出数ともに飛躍的に増加しており、町民の本に親しむ機会が高められている。今後もさらに、町民への広報活動をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	学校と地域社会の連携推進		
事務事業名	地域学校協働本部事業		
事業の概要	対 象	全小・中学校児童生徒	
	目指すべき姿	学校活動の中で学校が必要とするボランティアを派遣し、支援することで学校と地域が連携・協働し、地域ぐるみで子どもたちを育てる。	
	具体的な事業内容	全中学校区において、地域学校協働本部事業（学習支援、安全支援、環境整備支援等）を行う協働本部へ補助金を交付し、活動の推進を図る。	
最終予算額	1,558千円	決 算 額	930,059円
事業の成果と課題	<p>各中学校区に推進員を置き、校区推進員を中心に学校が求める活動へボランティアを派遣し、登下校の安全見守りや本の読み聞かせ、植木の剪定、校舎・運動場周辺の草刈りなどの支援を行いました。</p> <p>本部会議を年2回開催し、委員から活動計画への助言、意見等をもらい活動に活かしています。</p> <p>今後も、さらに事業を推進するため、地域のボランティア確保に向け、広報活動に力を入れていきます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	(C) B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A (B)	
学識経験者意見	各中学校区の校区推進員を中心に、登下校の見守り、読み聞かせ、樹木の剪定、草刈りなど意欲的な支援活動が行われている。また、本部会議を行い、課題等を出し合いながら活動に生かされている。今後もぜひ、継続してほしい事業である。		
教育委員会評価	A (B)		
担当課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	人権教育の推進		
事務事業名	人権教育推進事業		
事業の概要	対象	町民	
	目指すべき姿	人権が尊重され、差別のない社会をつくる。	
	具体的な事業内容	水俣芦北地区人権教育推進協議会への参画 水俣芦北地区人権教育研究大会参加 熊本県人権教育研究大会、部落解放研究集会、人権に関する各種研修会への参加	
最終予算額	55千円	決算額	31,911円
事業の成果と課題	<p>令和5年度は8月に津奈木町で第21回水俣・芦北地区人権教育研究大会が開催され、本町から約80名が参加しました。</p> <p>人権問題に対して幅広い人に関心を持ってもらい、理解を深めることが課題です。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	(-) B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A (-)	
学識経験者意見	<p>コロナ禍で、前年度まで数年実施できなかった水俣芦北地区人権教育研究大会が開催され、約80名の参加と、有意義な研修が開催されている。今後もさらに、部落差別問題や水俣病問題、ハンセン病問題、いじめ問題などさまざまな人権課題をテーマに研修機会を広げてほしい。</p>		
教育委員会評価	A (-)		
担当課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	公民館活動（地域活動）の充実		
事務事業名	中央公民館運営事業		
事業の概要	対 象	町民、自治公民館	
	目指すべき姿	地域の活性化や安全・融和等それぞれの地域の特色を生かした創造性豊かな自治公民館活動の充実。	
	具体的な事業内容	公民館運営審議会の開催、公民館研究大会への参加を通して自治公民館活動への指導、助言、支援等。また、中央公民館の使用許可、減免申請の受付、物品の貸し出し業務。	
最終予算額	392千円	決 算 額	326,971円
事業の成果と課題	<p>公民館運営審議会について、年2回（5月・3月）開催をしました。（社会教育委員会と合同）</p> <p>また、公民館研究大会九州大会及び熊本大会が4年ぶりに制限なしの対面開催となり、職員及び自治公民館連絡協議会役員で参加をしました。</p> <p>中央公民館研修室等の貸出については、適宜清掃、消毒を実施し、安全・安心な利用環境の提供に努めました。</p> <p>【研修室利用者数】 R5年度 10,894人（参考：R4年度 10,996人）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>年2回の公民館運営協議会の開催と、4年ぶりの公民館研究大会九州大会、熊本大会などへの参加で、館長や事務局職員の研修が深められている。また、中央公民館の利用状況は前年度と同じくらいに1万人を超えて、適切に町担当職員の広報など対策が講じられている。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	公民館活動（地域活動）の充実		
事務事業名	地区公民館施設整備支援事業		
事業の概要	対 象	自治公民館施設	
	目指すべき姿	自治公民館利用者の利便性を図り、自治公民館の使用を増進し、自治活動の向上を目指す。	
	具体的な事業内容	地区公民館施設整備支援事業によって地区公民館の建設等を行う地域に対して補助金を交付し、自治公民館利用者の利便性や周辺環境を改善する。 補助事業の種類として、町単独で行う地区公民館建設補助金、宝くじの社会貢献を目的としたコミュニティ助成事業補助金がある。	
最終予算額	612千円	決 算 額	610,000円
事業の成果と課題	<p>本事業の実施により、自治活動の場所や環境が改善され、自治公民館活動の向上が見込まれます。</p> <p>地区公民館建設補助事業として、令和5年度は、塩浸公民館ほか3か所の公民館の改修、修繕等に係る経費に対し、補助金を交付しました。</p> <p>自治公民館は、地区活動の拠点であると同時に、災害が発生した場合の一時避難所となる機会も多いため、地区の要望に寄り添いながら事業を継続していくことが重要です。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	令和5年度は、塩浸公民館ほか3か所の公民館の改修、修繕に係る経費の補助金が交付され、自治公民館の施設管理に貢献している。今後も、災害等で被害を受けたところを優先的に対応してほしい。		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	演能会開催事業		
事業の概要	対 象	町民及び近隣市町村住民	
	目指すべき姿	日本固有の伝統芸能である薪能等を鑑賞できる機会を提供し、文化財の愛護及び豊かな感性を育み伝統文化の大切さを感じてもらう。	
	具体的な事業内容	芦北町演能会の実施 ・日本の伝統音楽演奏、狂言と能の上演実施 開催日時 ・令和5年9月30日 入場者数 ・140人	
最終予算額	2,759千円	決 算 額	2,496,474円
事業の成果と課題	芦北町を代表する文化イベントとして定着していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び令和2年7月豪雨災害被災により開催を中断していたため、令和元年以来4年ぶりの開催となりました。 しろやまスカイドームを会場とし、開会行事では結成30周年を迎えた湯の香太鼓による和太鼓演奏や火入れ式があり、次いで狂言、喜多流喜秀会による能が上演されました。 町民が我が国の古典芸能を直に観覧し、伝統文化や文化財に対して関心を持つ機会となりました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	(-) B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B (-)	
学識経験者	4年ぶりの演能会の開催は、毎年の参加を期待している町内外の人たちにとってとても喜ばしいことであった。和太鼓演奏や狂言、喜多流喜秀会による能の上演など有意義な古典芸能に親しむ機会となったと思う。来年度以降もぜひ開催し貴重な芸能活動を推進してほしい。		
教育委員会評価	B (-)		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	佐敷城跡調査事業		
事業の概要	対 象	佐敷城跡、佐敷城跡出土物	
	目指すべき姿	佐敷城跡についての理解と関心を町民に深めてもらうとともに、後世に伝える。	
	具体的な事業内容	国史跡佐敷城跡の出土遺物の調査研究及び展示。 被災した町内文化財の洗浄、修復等の整理作業 ・出土遺物整理（通年） ・歴史資料展示（通年）	
最終予算額	6, 147千円	決 算 額	6, 031, 538円
事業の成果と課題	国史跡佐敷城跡は、町を代表する文化財であり、史跡佐敷城跡保存管理計画に基づき適正に管理を進めています。 なお、佐敷城跡からの出土遺物は整理作業を行い、特に重要な遺物については歴史資料展示室で展示を行っています。 また、令和2年7月豪雨災害により被災した古文書等、町内文化財についてクリーニングや脱臭作業などの整理作業を行いました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	史跡佐敷城跡保存管理計画に基づいて、出土遺物の整理作業や、重要な遺物の資料室展示など適切に国史跡佐敷城跡が管理されている。また、豪雨災害で被災した古文書や文化財のクリーニングや脱臭作業など細かい対応がなされている。		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重			
事務事業名	文化財保護審議会運営事業			
事業の概要	対 象	芦北町文化財保護審議会委員、町内に残る文化財		
	目指すべき姿	町内に残る歴史遺産の保護継承を図り、町民の文化財保護意識の高揚を図る。		
	具体的な事業内容	文化財保護審議会における、町内文化財の保護及び活用に関する指導助言、町指定文化財に関わる審議を行う。 ・文化財保護審議会開催（2回） ・熊本県文化財保護大会（1回） ・文化財保護先進地視察研修		
最終予算額	269千円	決 算 額	176,760円	
事業の成果と課題	令和5年度は審議会を4回開催（県文化財保護大会出席含む）し、町指定文化財の管理状況の確認や佐敷東の城跡、町指定文化財仁王像保管施設について巡見を行いました。 なお、文化財保護先進地視察研修では、文化庁が作成を推進している文化財保存活用地域計画策定に向けて福岡県久留米市及び大分県宇佐市を研修先とし、担当者から計画策定における文化財保護審議会の役割などについて学びました。			
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる	<input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A		
学識経験者意見	年3回の審議会と、県文化財保護大会、県外の文化財保護先進地視察研修（福岡県久留米市、大分県宇佐市）と、審議会委員の力量を高める充実した研修が行われている。特に、文化庁が作成を推進している「文化財保存活用地域計画策定」は本町でも本格的に取り組んでいかなければならないと考える。			
教育委員会評価	A			
担当課	スポーツ・文化振興課			

点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	文化財調査事業		
事業の概要	対 象	歴史的建造物、土木遺産、古文書、伝統芸能、風習等	
	目指すべき姿	地域の歴史を解明し、町内外の方に地域の歴史に対する理解を深め、町民の文化財保護意識の高揚を図る。	
	具体的な事業内容	周知の埋蔵文化財包蔵地内における開発行為に対し、事前調査及び調整を行う。 また、町内に残る歴史的建造物や古文書、遺跡、伝統芸能、風習など貴重な各種文化遺産や地名等について調査を行う。	
最終予算額	288千円	決 算 額	42,636円
事業の成果と課題	<p>令和5年度は町内における開発行為について、埋蔵文化財の有無など52件の事前確認を行い、埋蔵文化財のき損や滅失等を回避することが出来ました。</p> <p>また、町内文化財及び地域の歴史、地名等に関する町内外からの問い合わせに対し随時対応したほか、熊本県立美術館や熊本県文化課などと協同して町指定文化財仁王像の内部へのマイクロスコープによる観察を行いました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>令和5年度の町内の開発行為について埋蔵文化財の有無など52件が事前に確認され、き損や滅失が回避されている。</p> <p>また、町内の文化財、地域の歴史、地名等に関する問い合わせも丁寧な対応がとられている。さらに、町指定文化財の仁王像の内部をマイクロスコープで調査するなどきめ細かい対策がとられている。併せて仁王像が実照寺に再び保存されて良かった。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	文化財維持管理事業		
事業の概要	対 象	歴史的建造物、土木遺産、古文書、伝統芸能、風習等	
	目指すべき姿	町内に残る文化財の保存継承を図る。	
	具体的な事業内容	町内文化財の維持管理及び周知活動等に係る事業を行う。 ・指定文化財の維持管理（草刈・清掃・点検・修繕等） ・指定文化財の管理への謝金・郷土芸能団体への報奨金	
最終予算額	12,484千円	決 算 額	11,628,145円
事業の成果と課題	国史跡佐敷城跡をはじめ指定文化財の維持管理を定期的に行っており、佐敷城跡においては史跡指定範囲地内の間伐のほか、遊歩道庭園灯のLED化や駐車場トイレのウォシュレット化を実施し、史跡の適正な保存管理と利用者の利便性向上を図りました。 なお、指定文化財管理者及び郷土芸能保存団体へ文化財の維持管理と郷土芸能の保存継承に対する謝金の支払いを行ったほか、令和2年7月豪雨災害で被災した町指定文化財を保管する施設を新規に整備した民間所有者へ、経費の一部補助や取扱いへの助言等を実施しました。 また、老朽化した文化財標柱については取換えを行いました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	(B) A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	指定文化財の維持管理のために、史跡指定範囲地内の間伐、遊歩道庭園灯のLED化、駐車場トイレのウォシュレット化など、適正な保存管理と利用者の利便性が図られている。 また、文化財の維持管理と郷土芸能の保存継承のために謝金が支払われ、文化財を保管する民間所有者への経費の一部補助、老朽化した文化財の標柱の取り換えなど、町の重要な文化財が守られている。		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	佐敷東の城跡調査事業		
事業の概要	対 象	佐敷東の城跡及びその周辺の関連遺跡	
	目指すべき姿	県内でも有数の中世山城とされる佐敷東の城跡（町指定史跡）の史跡としての価値を高め、町民の理解を深めるとともに、文化財に対する町民の意識の高揚を図る。	
	具体的な事業内容	佐敷東の城跡（町指定史跡）について将来的な国史跡指定に向けた総合的な調査を行う。 また、調査に対する指導及び検討を行うため学識経験者による調査検討委員会を設置し、調査方法や事業計画に対する意見を取りまとめる。	
最終予算額	399千円	決 算 額	330,172円
事業の成果と課題	文化庁調査官や熊本県文化課職員をオブザーバーに迎え、歴史学や考古学などの専門家で構成する佐敷東の城跡調査検討委員会を設置しました。 会議は年2回開催し、調査方針の確認や調査方法についての検討を行いました。 また、佐敷東の城の城下集落（楡、乙千屋、宮浦地区）の現地踏査や花岡古町遺跡・花岡木崎遺跡の出土物確認、古文書資料解析などの総合的な調査に着手しました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/>満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/>町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/>関与のあり方を再検討
	達成度	(A) B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/>目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/>目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/>当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/>かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/>当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/>かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	歴史学や考古学の専門家で構成される佐敷東の城跡調査検討委員会を設置し、現地踏査や花岡古町遺跡・花岡木崎遺跡の出土物確認、古文書資料解析など、学識経験者による細かな研究調査が進められている。今後もさらに、中世の山城とされる佐敷東の城跡の価値を高め、町民にも広くPRしてほしい。		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重			
事務事業名	文化財災害対策維持管理事業			
事業の概要	対 象	令和2年7月豪雨で被災した文化財及び文化施設、用具		
	目指すべき姿	令和2年7月豪雨で被災した文化財及び文化活動用具等の保存・継承を図る。		
	具体的な事業内容	令和2年7月豪雨で被災した地域コミュニティ施設の復旧を行う。 ・芦北町地域コミュニティ施設等再建支援事業補助金交付		
最終予算額	602千円	決 算 額	601,000円	
事業の成果と課題	<p>令和2年7月豪雨で被災した文化財や地域コミュニティ団体所有の施設、用具について、熊本県の球磨川流域復興基金を活用して修復及び新調のための補助金交付を行うもので、市野瀬地区が実施する市野瀬観音堂参道及び斜面の災害復旧工事に対し補助金を令和4年度中に交付する予定でした。</p> <p>しかし、工事発注にあたり災害復旧工事が集中したことにより施工業者の手配調整に不測の日数が生じ、予定工期内に工事の完了が見込めなくなったため、令和5年度に事業を繰越しました。</p> <p>工事は参道への手すり設置及び斜面への吹付補強工で6月21日に完了し、事業費が確定したため補助金を交付しました。</p>			
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない	<input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる	<input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	(C) A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	<input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A (B)		
学識経験者意見	市野瀬地区の災害復旧工事は、工事が集中したために、令和5年度に繰り越されたが、観音堂参道の手すりの設置、斜面の吹付補強工事など、適切な対策がとられた。今後も、まだ復旧工事が急がれる箇所は随時対応をお願いしたい。			
教育委員会評価	A (B)			
担当課	スポーツ・文化振興課			

点検及び評価結果報告書

具現化方針	文化芸術活動の推進		
事務事業名	文化振興事業		
事業の概要	対 象	町内在住者及び町内の団体、又は文化活動の拠点が芦北町である者	
	目指すべき姿	町内外の芸術団体の交流を促進するとともに、町民の文化、芸術活動への理解を深め、文化、芸術活動を行う者の意欲の向上を図る。	
	具体的な事業内容	九州大会以上の大会に出場する者に対し、経費の補助及び九州大会以上の大会で優秀な成績を残した者を表彰する。 ・芦北町文化振興事業補助金交付 ・芦北町文化振興奨励賞表彰	
最終予算額	3, 870千円	決 算 額	3, 544, 728円
事業の成果と課題	<p>令和5年度は4件(全国大会4件)の大会出場者に補助金を交付し、周知の看板(6枚)を設置しました。</p> <p>また、文化、芸術部門での優秀成績者(10人・1団体)へ奨励賞を贈りました。</p> <p>□補助金：全国大会4件(14人)</p> <p>□奨励金：金賞(全国大会)4人、銀賞(九州大会)3人、銅賞(県大会)3人、特別賞1団体</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>全国大会に4件、大会出場者への補助金交付、周知看板の設置、文化・芸術部門での優秀成績者への奨励賞など、活躍者への称賛と奨励が適切に行われている。</p> <p>今後もさらに、看板や広報誌、補助金、奨励金など選手の意欲を高める支援をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	文化芸術活動の推進		
事務事業名	文化祭開催事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	町の伝統文化や新しい文化を学んでもらい、心豊かな人間性を育てる。	
	具体的な事業内容	伝統芸能や町民の文化活動発表の機会を設けるとともに講演会を開催する。 ・町文化協会団体発表会 ・町民の各種作品展示 ・文化講演会	
最終予算額	1, 546千円	決 算 額	1, 253, 684円
事業の成果と課題	令和5年度の芦北町文化祭開催について、文化協会総会及び理事会で協会員から意見を聴取し、10月28～29日に文化協会発表会、11月3日に文化講演会を開催しました。 ステージ発表では19団体(284名)、作品展示では159点の発表のほか、町内学校関係作品として402点の展示がありました。 文化講演会では、外交評論家の手嶋龍一さんを講師に、「半導体を制する者は世界を制する～台湾海峡危機と日米同盟」と題して講演があり、約400名の方が聴講されました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者	令和5年度の文化祭では、文化協会によるステージ発表、作品展示、学校関係作品の展示ほか、外交評論家の手嶋龍一氏の講演は、熊本に半導体工場が誘致されたことを契機に、多くの町民が関心を示す内容であり、有意義な講話であったと思われる。次年度も、町民のニーズに対応した講師の選定をお願いしたい。		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	星野富弘美術館の充実		
事務事業名	星野富弘美術館運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者	
	目指すべき姿	富弘作品による「いのちの尊さ・いのちの輝き」を通じて、人々に心の豊かさと生活への潤いをもたらす。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・富弘作品の展示・収集・保存 ・富弘作品を通じた教育普及活動 ・富弘美術館との連携 ・美術館の広報 	
最終予算額	12,274千円	決 算 額	10,302,882円
事業の成果と課題	<p>令和5年度は、展覧会を5回開催しました。展覧会については、特別展に併せ季節の常設展も行いました。(4月、7月、9月、12月、3月)</p> <p>教育普及活動については、第17回詩画公募展を実施したところ、1,545点の作品が集まりました。また、3月には湯浦小学校において星野富弘と詩画についての講話を行い、芸術文化及び「心の教育」に関する意識の高揚を図ることができました。</p> <p>美術館資料としては、星野富弘ジクレー版画を二点購入し、収蔵作品の充実を図ることができました。</p> <p>美術館施設の維持管理については、排煙ファンのバッテリーを交換するなど、安全かつ効率的に対応するよう努めました。</p> <p>なお、入館者数は、新型コロナ等の影響は少なくなったと思われませんが、7月から9月にかけての猛暑時期に外出を控える傾向が高まったことなどに伴い、前年度より1.2%減の4,671人となりました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効 率 性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公 平 性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
	学識経験者意見	<p>常設展や特別展など、季節に併せた魅力的な展覧会が開催されている。また、詩画公募展、湯浦小学校における「心の教育」の講話など星野富弘さんの生き方を学ぶすばらしい取り組みが行われている。入館者は前年度より減少しているが、猛暑時期でありやむを得ないことである。</p>	
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進			
事務事業名	スポーツ振興支援事業			
事業の概要	対 象	町民		
	目指すべき姿	助成を行うことで、組織の強化や大会に出場しやすい環境を整え、競技スポーツの活性化を図る。		
	具体的な事業内容	競技力向上と育成強化を目的とした活動を行う団体等に対する補助。九州大会・全国大会に出場する監督及び選手に対する経費の補助。優秀な個人・団体・指導者の顕彰を目的とした「芦北町スポーツ賞」の交付。町外からスポーツ留学をしてきた中学生及び受け入れを行った団体等に対し、下宿費等の補助金を交付する。		
最終予算額	9,034千円	決 算 額	8,811,520円	
事業の成果と課題	<p>社会体育クラブに育成強化費等を補助し、九州大会以上の大会に出場した選手・監督に大会参加補助を行うとともに、全国大会出場者は看板を設置し町民へ周知しました。また、一年間で最も活躍した選手・指導者に、スポーツ賞及び奨励金を交付し、町外からスポーツ留学をしてきた中学生及び受け入れを行った団体等に対し、下宿費等の補助金を交付しました。なお、大会出場補助やスポーツ賞奨励金については、大会等が再開され、前年に比べ実績が増加しました。</p> <p>社会体育クラブ育成補助金（11団体・220人） 大会出場補助金（九州大会168人・全国大会117人） スポーツ賞奨励金（81人） 中学生スポーツ留学（1人・1団体）</p>			
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない	<input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる	<input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	(B) A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	<input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A (B)		
学識経験者意見	<p>競技力の向上と育成強化を目的に、九州大会や全国大会出場者に対する参加補助、全国大会出場者の看板の設置、スポーツ賞、奨励金の交付、スポーツ留学者や受け入れの団体等へ下宿費の補助金交付など適切な支援体制が図られている。今後も優秀な選手を育てる風土づくりを期待したい。</p>			
教育委員会評価	A (B)			
担当課	スポーツ・文化振興課			

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	温泉プール管理運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者	
	目指すべき姿	利用者の健康増進及び親睦と、体育・スポーツの振興を図る。	
	具体的な事業内容	利用者に安全かつ快適な利用環境を提供する。 ・施設の管理運営 ・各種教室の開催	
最終予算額	29,883千円	決 算 額	26,261,148円
事業の成果と課題	令和5年度の町営温泉プールの利用者数は28,724人で、前年度27,364人に対し4.9%の増となりました。 なお、施設利用向上のため、ワイヤレス拡声器1台を購入しました。 最後に、施設の老朽化により、更新が必要なものを計画的に行い、今後も利用者が安全かつ快適に利用してもらうために、施設環境を整備して行く必要があります。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	長期的に施設の老朽化は進んでいるが、利用者数は前年度に比べ1000人以上増えており、水泳を通じた体力、健康づくりが感じられる。今後は、プールの大規模な改修を考えた提案も示してほしい。		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業		
事業の概要	対 象	クラブ利用者	
	目指すべき姿	町民が、年間を通して多種多様なスポーツを行い、体力向上・健康づくり・仲間づくりの場として活用できる組織、団体の確立を目指す。	
	具体的な事業内容	芦北町総合型地域スポーツクラブ（JK Aトレジャークラブ）のスポーツ・レクリエーション活動等に対し補助金を交付する。	
最終予算額	2,540千円	決 算 額	2,540,000円
事業の成果と課題	<p>スポーツ学習教室（5教室）は、子どもから高齢者までいつでも・どこでも・だれでも楽しく参加できる環境が整えられ、町民の体力向上・健康づくり・仲間づくりに寄与することができました。また、育成教室（9教室）では、年々成果が表れ小中学生の競技力向上が図られています。</p> <p>令和5年度は、令和4年度までの新型コロナウイルスによる活動の制限も緩和されて、一定の会員数を確保することができました。</p> <p style="text-align: center;">（会員数：256人、42人増）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>スポーツ学習教室では、子どもから高齢者までの学習環境が整えられ、育成教室では、小中学生の競技力の向上と、多様で楽しく学ぶ学習環境が提供されている。</p> <p>今後も、スポーツやレクリエーション活動を通じた生涯スポーツの理念を浸透させてほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	体育イベント開催事業		
事業の概要	対 象	イベント参加者	
	目指すべき姿	地域のコミュニケーションづくりや、日常的にスポーツに親しむきっかけを提供するとともに、競技力の向上を目指す。	
	具体的な事業内容	交流イベント、町民スポーツ大会陸上大会、熊日三太郎駅伝競走大会等の実施。	
最終予算額	562千円	決 算 額	184,830円
事業の成果と課題	<p>交流イベントの野球大会、バレーボール大会、卓球大会、サッカー大会を種目協会主催で開催することができました。町民スポーツ大会陸上大会は天候不良による中止、熊日三太郎駅伝競走大会については第74回目を開催し、県内で最も伝統のある大会として、多くの人たちが沿道から声援を送りました。</p> <p>今後も引き続き、町民がイベントに参加できる機会の創出を図ります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>種目協会による、各種の交流イベントや熊日三太郎駅伝徒競走大会など、広く町民に関心のある競技大会を開催し、競技に参加しなくても、声援を送るなど、選手と応援者が一体となったイベントへの参加は、生涯スポーツを提唱、推進する上からも重要なことである。今後も町民の関心を高める競技大会を望みたい。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	芦北町スポーツ協会支援事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	町民のスポーツ人口の拡大と競技力向上を図る。	
	具体的な事業内容	スポーツ協会活動（各種町民スポーツ大会開催・郡民体育祭選手派遣・熊日三太郎駅伝競走大会選手派遣・県民体育祭選手派遣等）に対し補助金を交付する。	
最終予算額	4,770千円	決 算 額	4,770,000円
事業の成果と課題	<p>各種町民スポーツ大会は、陸上が雨天中止となりましたが、他の11種目（グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、卓球、バドミントン、ソフトボール、水泳、野球、ゴルフ、クレー射撃、バレーボール、ビーチバレーボール）は開催することができました。</p> <p>熊本県民体育祭では、グラウンド・ゴルフ女子、空手道が優勝を果たしました。</p> <p>熊日三太郎駅伝競走大会、男女熊日郡市対抗駅伝へ選手を派遣し、男子郡市対抗駅伝競走大会では1区、8区で区間賞を獲得し、力を発揮するよい機会となりました。</p> <p>なお、各種目競技の競技力低下を避けるため、地域スポーツ協会や種目協会に対しても補助を行い選手の育成に務めました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>各種のスポーツ大会は、11種目が開催され、競技力の向上と人的交流が図られている。また、県民体育祭では、グラウンドゴルフ女子、空手道が優勝するなど、スポーツ人口が拡大し、優秀選手の育成にも繋がっている。さらには、男子郡市駅伝徒走大会では、1区、8区で区間賞をとるなど、社会人や中学生の見事な走りは町民の誇りとなった。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	スポーツ推進委員協議会運営事業		
事業の概要	対 象	スポーツ推進委員	
	目指すべき姿	本町における、地域スポーツの振興を支える人材の資質向上と、スポーツ施策の活性化を図る。	
	具体的な事業内容	スポーツの指導者として、実技指導や各種スポーツ大会の実施、スポーツに関する指導・助言・普及を行う。 ・年6回の定例会の開催・広報紙1回の発行 ・各種研修会への参加 ・主催事業の開催及び町事業への積極的参加・協力	
最終予算額	1,167千円	決 算 額	671,340円
事業の成果と課題	スポーツ推進委員会議は6回開催し、主催事業のイベント（スポーツフェスタ・ダンボルック大会）については、全世代から多くの参加がありました。 また、熊本県や九州地区のスポーツ推進委員研修会に参加し、資質の向上とスポーツ指導体制の強化を図りました。 広報活動では、スポーツ推進委員の活動をより身近に知ってもらうため、ホームページやSNSによる情報発信を行うとともに「広報あしきた」にも掲載し、広く周知を図りました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	定期的なスポーツ推進委員会議や県、九州地区のスポーツ推進委員研修会への参加など、スポーツ指導者の力量を高められている。また、主催事業としてのダンボルック大会は、子どもから大人まで楽しめる活動が実施されている。 また広報活動を通じた情報発信も、生涯スポーツの理念継承の上からも大切である。		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	体育施設管理運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者・町民総合センター及び各体育施設	
	目指すべき姿	利用者の健康増進及び親睦と、体育・スポーツの振興を図る。	
	具体的な事業内容	町民総合センター及び各体育施設を安全、安心して利用できるよう管理、運営を行う。 ・町民総合センター空調監視盤更新工事	
最終予算額	71,954千円	決 算 額	63,621,478円
事業の成果と課題	<p>町民総合センターを中心に、各体育施設と夜間学校体育施設の適切な維持管理運営を行いました。</p> <p>空調監視盤更新工事を行い、利用者に対してより利便性の向上に取り組みました。</p> <p>各体育施設は老朽化により、今後も施設や設備等、多額の予算を伴う修繕が必要となることから、計画的に改修を行い、利用者の安全を第一に管理運営を行っていく必要があります。</p> <p>町民総合センター利用者数：50,840人（テニスコート・弓道場・アーチェリー場を含む） その他各体育施設利用者数：77,375人</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>町民総合センターの安全面を配慮し、令和5年度は空調監視盤更新工事を行うなど、施設の設備点検及び修理等が適切に行われている。利用者数も前年度と比較して約9000人の増加である。一方、各体育施設は老朽化しているところが多く、さらなる計画的改修が必要であり、順次、対応を急ぐところから取りかかってほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	地域資源活用総合交流促進施設管理運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者	
	目指すべき姿	施設の利用を促進することで、文化・スポーツ等による交流人口の増加を図る。	
	具体的な事業内容	施設を安全かつ快適に利用できるよう管理、運営を行う。	
最終予算額	6,437千円	決 算 額	5,293,125円
事業の成果と課題	<p>令和5年度は利用者及び避難者の利便性向上のため、トイレ便座取替工事を行い、全台温水洗浄便座に更新しました。</p> <p>今後は、周辺の体育施設との連携並びに職場や学校行事による利用促進など、より多様な利用形態を目指し、更なる関係人口の増加を図っていく必要があります。</p> <p>また、特定避難所として、利用者の利便性の向上に努めます。</p> <p>交流センター利用者数：12,204人（うち宿泊利用：139人）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>交流センターの、トイレ便座取替工事で全台温水洗浄便座に更新するなど、衛生面でも利用者の使いやすいトイレ改修が進められた。利用者数も前年度と比較し、約2000人の増加で文化・スポーツ等の交流人口の増加が見られる。今後もさらに、施設の安全面を最優先に、職場や学校での利用促進を期待したい。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		